

ちよるる ふわふわドーム  
事故報告書

平成 22 年 6 月 17 日  
山口待機  
代表 河谷紳也

弊社で製造、レンタルしている「ちよるるのふわふわドーム」の運用において、下記の事故が発生しましたので、下記のとおり報告します。

1. 発生日時

平成 22 年 6 月 5 日（土） 午後 3 時ごろ

2. 発生場所

山口県防府市佐波川河川敷

3. 事故の内容

主催者へレンタル契約で貸出し。運営は主催者側で実施した。

参加者を入れ替え時に、ドームがしぼみ、頭部、腕が垂れ下がった。その頭部に、参加者（2 歳・男児）が入りこみ、そのまま膨らんだため、頭部から振り落とされた。落ちた際に腕をひねり、左腕の肘を骨折した。診断の結果、全治 2 カ月。



（参考写真）

入れ替え時には、一定時間以上、出入り口を開けておくと、内部の空気が抜けてドームがしぼむ。

事故発生時は、この写真よりも、もっとしぼんだ状態だったと思われる。

4. 事故原因

- ① ドーム運営を行った主催者への危機管理についての弊社の説明の不足。
- ② 監視員が内部を見ていなかった。

5. 再発防止にむけて

- ① 参加者の入れ替え時に、ドームがしぼんでしまったら、膨らむまで待つて次の参加者を入れる。
- ② ドーム出入り口の注意書きに、①の内容を明記する。
- ③ 別紙のマニュアルを実施前に主催者に渡し、運営担当者へ周知してもらう。

ちよるる ふわふわドーム  
使用上の注意事項

2010.6.16 作成

●ふわふわドームを運用することについて以下の点に注意してください。

(1) 設営上の注意

- ①平たい場所に設営してください。坂など勾配のある場所での設営は禁止です。
- ②砂利や砂地での設置はしないでください。
- ③雨天時、強風時は運営を中止してください。
- ④コンセント部分が濡れないように配慮してください(例・水場の近くに設置しない)
- ⑤エアダクトとファンの接続で、ダクトがねじれないようにしてください。送風の妨げになります。
- ⑥設営に関しては、大人の男性が最低でも2名必要です。

(2) 運営上の注意

- ①1回に入ることができる人数は子どもで10名、大人で5名程度です。
- ②飲酒している大人は入れません。
- ③小学校中学年以上の子どもが入る場合は、他の小さい子どもに気をつけるように声をかけてください。または、入れる人数を少なめにしてください。
- ④人の出し入れ時にエアが抜けて、しぼんでいる時に、しぼんで下がってきた腕や頭部に子どもが入る場合があります。しぼんでいる状態では、膨らむまで待ってから、参加者を中に入れてください。
- ⑤中で泣いている子どもがいたら速やかに出して下さい。
- ⑥概ね5歳以下の子どもの場合は、保護者が一緒に入ってもらってもOKです。
- ⑦熱中症や運動酔い対策のため、1回に遊ぶ時間は夏場で最長でも5分にしてください。
- ⑧風の流入口に子どもが座り込むことがあります。その場合は、そこを避けるように声をかけてください。
- ⑨各部を結ぶ紐には触らないように注意してください。
- ⑩ポケットに物が入っていないか、声かけして確認してください。
- ⑪名札などの安全ピンを付けている場合は取るように声をかけてください。
- ⑫中は滑りやすいので、靴下を脱いだほうが良いと声をかけてください。(靴下を脱ぐのは必須ではありません)

(3) 撤去上の注意

- ①撤去マニュアルを見ながら、進めてください。
- ②エアが抜けきってから畳んでください。
- ③車への積み込みには、大人の男性3名以上が必要です。